

## 令和5年度 JK Y B ライフスキル教育研究会東海支部学習会（浜松）報告

令和5年10月14日（土）13:30～16:30 クリエイト浜松にて、JK Y B ライフスキル教育研究会東海支部の学習会を開催しました。7年ぶりの静岡開催とあって、運営側もやや緊張気味でしたが学生や子どもとつながりのある多職種の方29名に参加いただき大盛況でした。内容は、ライフスキル教育の理論を活用した学校における健康教育の実践発表と講演の2部構成で行いました。

### ◆実践発表

#### I 長期欠席傾向生徒への支援の実際

畠中 恵実（愛知県岡崎市立竜海中学校 主任養護教諭）

#### II 個を大切にできる個別指導の取り組み

坂井三代子（愛知県一宮市立木曾川中学校 養護教諭）

### ◆講演

『レジリエンシー（しなやかに生きる心の能力）を育てる』

川畑 徹朗（JK Y B ライフスキル教育研究会代表・神戸大学名誉教授）

実践発表では、お二人の先生から学校現場でライフスキル教育を取り入れた実践についてご報告いただきました。

I 「長期欠席傾向生徒に対する支援の実際」では、保健室に来室した生徒への声かけや居場所づくり等を通して、対人関係や意志決定スキル等を習得させるための取り組みや校内フリースクール等、教育活動全般を通して学校体制で行っている支援についての報告でした。

II 「個を大切にできる個別指導の取り組み」では、心の健康状態が気になる生徒に対して、意志決定のステップを取り入れたワークシートを活用し、個別指導を実施したことで、より主体的な行動変容につながった実践についての報告でした。



講演では、川畑先生のユーモアあふれるお話で、会場は、終始、笑顔が絶えず、活気に満ちていました。また、「参加型学習」や「協働学習」には、自己有能感の向上や対人関係能力が育つメリットがあるということ、複数のワークを通して体験的に学習することができ、実践意欲がわく内容でした。



## 参加者の声

### <実践発表>

- ・個別指導の取組について、実際に活用されているワークシートやどのような場面でどう指導しているのか、具体的に知ることができた。勤務校でも活用できたらと思う。(20代)
- ・ヘルスアップカードの取組が大変素晴らしく勉強になった。私も継続的に調査をとることで、子どもの的確な実態把握、指導や支援につなげていきたい。(20代)
- ・他校での取組のうち、自分の学校でも実践できそうなことを知ることができた。(30代)
- ・生徒自身が目標設定して生きる力を育む生徒主体の力を信じて伸ばすことが大切だと感じた。(50代)

### <講演>

- ・ブレインストーミングや良い友達の本等を通して、ライフスキル教育の内容を体験することができ、まず、大人が子どもたちのロールモデルになることの重要性を学ぶことができた。(20代)
- ・今まで考えていたことが理論としてしっかり学べた。教師自身が変わり、子どもたちを認め、学級経営をするとよいと思ったので明後日から始めます。(30代)
- ・グループで活動すること自体が楽しかったし、実践してみたいヒントを得られた。(40代)
- ・参加型で楽しかった。グループの人たちが普段接しない方々だったので、気を遣うことなく発言できた。(50代)
- ・いつも新鮮で納得する。(70代)

### <全体を通して>

- ・この会に初めて参加させていただきましたが、とても温かい雰囲気楽しく勉強させていただきました。(20代)
- ・子どもたちに何か起きた後ではなく、起きないように指導していく必要性を改めて感じました。実際にどんなことをやっていけばいいのか、実践的な取組を通して行っていただき、やってみたいと思うものばかりでした。(20代)
- ・今後、実践したい内容がよくわかり大変勉強になりました。冊子があるのでより詳しい内容がわかりました。この教育が広がるように多くの方が実践してほしいなと思いました。(30代)
- ・川畑先生のお話やグループワークの進め方が上手で楽しい気持ちになれました。(50代)
- ・やはり多様な参加者はいいですね。(60代)